

王喜の郷の輪 第33回

ケアハウス王喜の郷入居者へのインタビュー

2か月に一度、ケアハウス・デイサービス合同で誕生会を開催しています。

4月、5月生まれの方の誕生会を5月25日に行いました。

ゲストにダディ上田さんに来ていただき、ギターの弾き語り、上田さんのトークに大変盛り上がりしました。

誕生会に参加された5月生まれのOさんに感想をお聞きしました。

「2回目の誕生会でした。皆様にお祝いをしていただき、歌も聴きほれ♪

あつという間の一時間でした。楽しかった誕生会、気持ちを忘れないようにと思っております。

ありがとうございました。 K.O



フナムパンパン

わたしは PHAM BANG BANG です。
 ことし19歳です。ベトナムから来ました。H'h'じはにほん
 ぞじがしねがさしてします。じまはじりふくししじ
 のきふよくじじのしごをします。はじめの
 しごとなので、また「むす」がしごともあおく、じた
 いねじてんもたにくさります。

はじめはりよしやじまのおねまえをおぼ「ええ」ことも
 すこしねへんてしたか、じしよけんめじおねまえ
 こかおぼ「ええ」よにがんばりました。すこしずつおぼ
 えられるよになり、じまはりよしやじまのおねまえ
 ねへんではじげんもできるよになりました。H'h'h
 のおねまえをおぼ「ええ」れたときは、こてもうれ
 しかったです。

また、すこしずつはやば「ん」のしごにもねねてて
 きましたか、また「すこし」をしましごともあ
 ります。これか「も」とじりよくしてしますので、4
 ねさんにしごじり。こまよりにくじたね「けえ」とね
 してです。

じかじが「は」べつツフトのしごともねんてするよ
 てじです。ごめじおくをおかけすることもあ
 かもねまねか、しごじりよくおねがじじたし
 ます。しかりしごをおぼえ、よりよくできる
 よにがんばります。

また「まじ」ふねねですが、これか「も」じりよけん
 めじが「ん」ばりますので、しごじり、こべんてつのは
 と、よろしくおねがじじたします。



5月より、厨房に新しくベトナムからの技能実習生が二名来ています。バンさんとトゥーさんです。厨房での仕事を覚えながら、日本語の勉強もがんばっています。今月はバンさん、来月はトゥーさんの書いた文章を掲載いたします。

たんぽぽ通信

7月1日発行 233号

ケアハウス王喜の郷 令和8年7月号

Webページ <http://www.ryokujukai.jp>

巻頭言

ケアハウスの庭を午前中に毎日、グループホームの方々が散歩されています。職員が花の名前やひよこのことをいろいろと「きれいね」「かわいいね」と告げています。花や木ばかりではなく、蝶やトンボなど虫や鳥のこともゆっくりと、楽しそうに話しています。入居者のみなさんのほうがご存じのことも多く、花の名前や木の名前を教えてくださいたいです。そしてみんなで大きく呼吸して、おいしい空気を吸っています。「気持ちいいですね」。日々仕事や生活におわれ悩みの多い生活ですが散歩のひとときが職員にとっても息ぬきなのでしょう。私たちの周りから生き物が少なくなり、先日キャアという声によくみるとくもでした。ほとんどみずから攻撃はしてこないのですが、やはり形が怖いのでしょうか。花や野菜の手入れをしていると、この時期にはいろいろな生き物が、あちらこちらで盛んに活動しています。生きていることに感謝します。中庭の燕たちも、ひととき私たちを楽しませてくれましたが、もうじき巣立ちでしょうか？また帰っておいで。 施設長 末谷千秋

厨房では週に一度手作りデザートを提供しています。

7月のデザート

- ① トマトゼリー
- ② 梅ゼリー

どうぞお楽しみに！

K.Y様
入居されました。

T.S様退居されました。
T.O様お亡くなりになりました
ご冥福をお祈りいたします。

7月のお誕生日 & 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 半夏生	3	4
5	6	7 七夕 小夏	8	9	10	11
12 K.M様 誕生日	13	14 M.Y様 誕生日	15	16	17	18 K.N様 誕生日
19	20 S.O様 誕生日	21	22	23 大暑 N.U様 誕生日	24	25
26 土用の丑	27	28 M.Y様 誕生日	29 ビューティーヘルパー	30	31	

*誕生日：お名前記載の方の誕生日です。

**ビューティーヘルパー：出張の理美容です。食堂白板に「料金表」と「申込み書」を貼っています。ご自分でご記名ください。

ケアハウス王喜の郷

お菓子に「博多銘菓ひよ子」があります。可愛くて何より美味しく甘い。誕生は大正元年福岡県飯塚市の吉野堂だそうです。昭和39年東京オリンピックの年に東京に進出してその後、東京のお土産としても定着したそうです。



先月の終り、鶏の雛50羽余り仲間入りしました。毎日近づくと餌欲しさが、親と間違えて近寄ってきます。日々成長し皆さんに美味しい卵をお届けする時が待ち遠しく思いながら、月日が経つと私はニワトリだったのか悩む日々を送ることになります。この世に本当の親を知らない人がおられます。恵蔵智という方だそうです。生まれた直後、病院の手違いで別の赤ちゃんと取り違えられ、これ迄育ててくれた親が本当の親でなかった。こちらは冗談では済まされません。一時も早く本当の親に会えることを望みます。

配食担当 吉坂 学

王喜の郷デイサービスセンター

毎日蒸し暑い日が続き、梅雨明けが待ち遠しいですね。デイサービスでは、利用者さんが熱中症や脱水症状にならない様、室内温・湿度の調整・換気などの室内環境を整え、定期的に麦茶等を提供し、水分補給をしっかりと摂ってもらっています。



7月7日の七夕の日に、王喜小学校4年生児童さんとの交流会をケアハウス食堂にて開催する予定です。皆さん、毎回、交流会を楽しみにして下さい、児童の皆さんも参加者の皆さんに喜んで頂ける様な様々の出し物を考えられているようです。

また、7月後半には、6・7月生まれの方を対象とした誕生会も予定していますので、楽しみにお待ち下さい。これから暑さも本格的になりますので、体調管理に注意され、夏を楽しくお過ごし下さい。

介護職員 清水 尋子

グループホーム王喜の郷ライム

長雨が続き、蒸し暑い日が多くなってまいりました。ライムでは天気が良い日には入居者の皆様に外気浴を行なっています。ライムには東屋があり、暑い日でも日陰になり風も良く通るため座って談笑されています。夏が来るたびに今年の夏は去年以上に暑いと毎年言っている様な気がします。僕は高校まで野球をしており、この暑い夏によく外で試合や練習していたなあと思います。高校野球も始まります。高校球児に負けないよう水分摂取をこまめに行い、熱中症にならないように入居者の皆様、職員一団となり暑い夏を乗り越えましょう！！



介護職員 久坂 剛史

グループホーム王喜の郷

暑くなり、グループホームでは、シーリングファンが毎日回っています。天井に取り付けてあるファンで、室内の空気を循環させて快適な温度環境を作っています。毎日の日課を継続することで体調の維持を図ることができるとともに、変化に早く気付くことができます。現在、平均年齢は88.2歳です。みなさん、お互いの体調を気にかけて、声を掛けてくださっています。食事は三食しっかり食べていただけるよう、また水分は麦茶だけでなく、手作りのブレンド茶を煮だしたものを提供し、脱水にならないようこまめな補給を心掛けて声をかけています。

今月は七夕飾りづくりや誕生日会を予定しています。みなさん、短冊に願いごとを書かれてくださいね。よろしく願いいたします。



管理者 野平 千加子

王喜の郷居宅介護支援センター

6/23に東部地域ケアマネ連絡会議に参加し東部地域包括支援センターから、自費サービスのお話がありました。

介護保険は自立した日常生活を送るためにあります

- ・ケアプランに無いサービス
- ・本人以外(家族)へのサービス
- ・本人ができる事のサービスは支援できません。



例えば電球の交換、買い物同行、外出の付き添い、窓や家の大掃除、実家の片づけや庭の草抜き、墓参り、ペットの散歩などがあります。

一人で行うには不安、家族は忙しく頼めない時に自費サービスを利用する方法もあります。

事業所については市役所のホームページに載っていますのでお知らせします。

介護支援専門員 石川 ゆかり

王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか

「ケ・セラ・セラ」ってよく聞く単語です。スペイン語でなるようになるさ、どにかなるさ、という意味だそうです。人間は、考えながら生きていく生き物だそうです

絶対に解決できないことを考えながら生きていくのは悲しいと思います。例えば年を取った悩み、これは誰も解決してくれません。「なるようにしかならない。」という気持ちを持っていますと心が軽くなるかもしれません。

しかし、あきらめの胸中ではなく開き直りの胸中で過ごされると毎日落ち込まなくてもよくなるかもしれません。常に思うのですが、せつかくの人生です、顔を上げて1日1日大切に過ごされてください。

何か困ったことなどありましたら、遠慮なく声をかけて下さい。今後もよろしくお願いいたします。



サービス責任者 山田 朋子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

中庭のブドウの実が日に日に大きくなっています。これからたくさん太陽を浴びてますます育っていくのが楽しみです。



ミントではレクの時間に、毎日の新聞から気になる記事を皆さんに伝えており、一つの記事について色々な意見が聞かれます。クマに関する記事では「山に食べるものがないから人里にくるんよ」「近い場所に出ているからここにも来るかもね」「怖いね、出会ったら走って逃げたらいいんかね？」など利用者さん同士で話されているのを聞きながら、皆さんがそれぞれの思いや考えを声に出して言われることも、介護の現場では大切なことだなと思いました。



介護職員 磯部好美

放課後等デイサービス さくら

・子どもの個性を大切にします・リラックスできる時間を提供します・自立に向け必要な支援を行います

さくらの理念です。二つ目までは安心してのびのびと過ごす子ども達の姿が窺えています。難しいのは自立に向けての支援です。専従の支援員が、本当に細やかに個別に分析し、その子の特性に寄り添ってプランを立てていますが、一進一退に辛抱強く取り組む必要があります。ささやかながら成長が見られることでこちらも支えられます。

さて、七月と言えば夏休み！がきます。子ども達は嬉々として待ち、支援員は恐々として構えます。栄養ドリンクをずらりと並べて互いを鼓舞して乗り越えていくのは、他の部署には無いさくらの熱い夏です。

それでも、今年どんな笑顔を見せて貰えるか、楽しみに心から待っております。



支援員 和田育恵